

ピーナッツチョコレート

作詞・作曲 植田歩幸 編曲 heco

噛み砕いたチョコレートの味は苦くて切ない。  
口に残ったピーナッツが離れようとしなない。

泣けど街は動くことをやめず、明かり灯している。  
染みた涙がアスファルトで輝こうともがく。

どうやって明日を迎えるか、胸が苦しそうに聞いた。  
こうやっていつか忘れられる？口の中は苦いまま。

君と見た星はとてもきれいな色をしていた。  
今日の夜空には雲が邪魔して何も見えない。  
ああ、寂しいな。帰り道はひとり。

大して強くもないくせに、夜道で笑顔作って送る。  
「さよなら、元気で過ごしなよ。」携帯を切り、ポケットにしまう。

「甘いチョコレート、これが溶けたら帰ろうかな。」  
君はそう言ってほんのすこし反対向いた。  
ねえ、なんでだろう。今日はすぐに溶けた。

君が好きだったチョコレートにはいつもピーナッツ。  
「全部溶けるまで噛み砕いたら反則だよ。」  
ああ、そうだった。君が言った。ねえ、今夜は守れそうにない。

噛み砕いたチョコレートの味は苦くて切ない。  
口に残ったピーナッツが離れようとしなない。